

岩手県立大学 平成 29 年度卒業年次生

学生生活アンケート

調査結果（抜粋）報告書

平成 30（2018）年 3 月

ご卒業おめでとうございます。

この報告書は、皆様にご協力いただいたアンケートの結果を抜粋してご紹介するもので、ご自身や同窓生の学生生活についての感想や振り返りを鳥瞰していただけるようになっています。

また、皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の本学の改善に役立ててまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

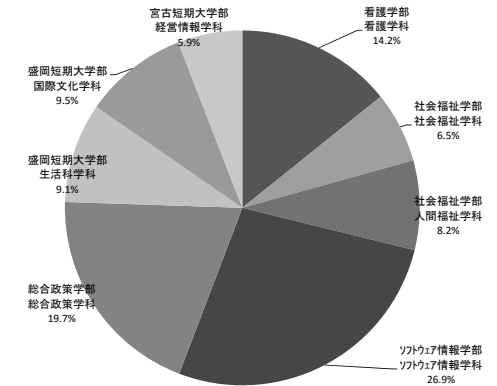
卒業後の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

1. 調査の概要

- ①実施時期： 平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 2 月 13 日
②対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
平成 29 年度卒業年次生（732名）
③回答者： 527件（回収率：72.0%）
④集計対象回答者内訳：

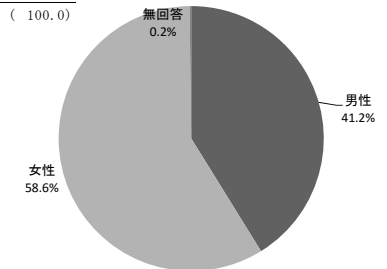
1. 所属

1. 看護学部 看護学科	75 (14.2)
2. 社会福祉学部 社会福祉学科	34 (6.5)
3. 社会福祉学部 人間福祉学科	43 (8.2)
4. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	142 (26.9)
5. 総合政策学部 総合政策学科	104 (19.7)
6. 盛岡短期大学部 生活科学科	48 (9.1)
7. 盛岡短期大学部 国際文化学科	50 (9.5)
8. 宮古短期大学部 経営情報学科	31 (5.9)
合計	527 (100.0)



2. 性別

1. 男性	217 (41.2)
2. 女性	309 (58.6)
3. 無回答	1 (0.2)
合計	527 (100.0)



2. 調査結果の要約

○学生生活について

- 出身地は、岩手県 67.6%のほか、青森県 6.5%、秋田県 5.3%と続き、東北 6 県の出身者が全体の 88.2%を占めている。これまでの 7 年間の調査でみると、岩手県出身者の割合は 72.5%～65.6%の範囲で上下している。
- 回答者の住居の状況は、アパート 53.9%、自宅 41.2%、その他となっており、通学方法は、鉄道 27.7%、自家用車 26.6%、バス 19.9%の順となっている。
- 「滝沢キャンパスに学生寮があったとしたら入寮を考えましたか」との質問に対し、21.6%が「入寮を考えたと回答している。
- 回答者の1ヶ月の平均収入額は、全体として総額 81,935 円、自宅生は 61,112 円、自宅生以外は 95,107 円であった。
- 学内のサークル活動に参加していた割合は、全体の 68.7%。
ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の 39.3%、学外のクラブ・サークル活動 17.5%、地域創造学習プログラム 13.1%、国際交流活動 10.4%、町内会などの活動 6.8%であった。
- 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の 14.8%、その内約 7%が交通事故である。
- 在学中の学生生活全般の充実度は、全体の 96.0%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」となっている。

○教育全般について

- 自ら設定した学習達成目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は、全体の 82.5%。
- キャリア形成に関わる正課の授業を履修した割合は、全体の 70.8%。履修した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は、全体の 92.0%。

- インターンシップ・体験学習(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く)を体験した学生の割合は、全体の 58.6%。体験した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は、全体の 94.2%。
- 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の 27.1%。取り組みの内容としては、「資格試験(TOEIC、英検など)に挑戦した」22.8%、「通信教育や教材で自学した」5.5%等となっている。
- 在学中に海外渡航の経験を有する学生は、全体の 22.4%。所属別では、盛岡短期大学部国際文化学科が 76.0%と突出して多い。
- 教育の仕組みや施設・教育機材、事務室の対応等に関する満足度は、約 78%～93%の範囲となっている。

○図書館について

- 図書館の利用頻度は、「月に 1～2 日」24.5%、「週に 1～2 日」19.4%、「年に数回」16.9%、「試験期間に利用」10.1%の順となっている。所属によって利用頻度にばらつきが見られる。
- 図書館の利用目的は、「学習場所として(自学自習)」76.6%、「図書閲覧・貸出」68.2%、「図書・雑誌を利用した調べもの」40.1%の順に多くなっている。
- 図書館の利用満足度は全体的に高く、滝沢キャンパス、宮古キャンパスともに、全ての項目で肯定的意見(「満足である」「どちらかといえば満足である」)が 88%を超えている。

○健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室、保健室について

- 健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室(滝沢キャンパス)については、利用したことがない学生も多いが、利用者の満足度は非常に高く、肯定的意見(「満足である」「どちらかといえば満足である」)は、すべての項目で 98%以上となっている。
- 宮古キャンパスにおいては、保健室、カウンセラー相談などハード・ソフト面の両面に

において利用者の肯定的意見の割合は100%となっている。

○卒業後の進路、就職活動等について

- 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が68.9%、「就職(公務員)」が12.5%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が5.5%等となっている。
- 卒業後の居住予定地は、「岩手県」が全体の50.5%である。特徴的なのはソフトウェア情報学部において、「東京都」が30.3%となっている点である。
- 卒業後、進学または海外留学をする学生(67名)が進路先を選ぶ上で重視したのは、授業科目79.1%、次いで大学の知名度、教育環境(施設含む)が同率で43.3%、授業料20.9%、教員陣19.4%となった。
- 決まった進学または海外留学先の満足度に関しては、回答者67名のうち61.2%(41名)が「第一希望である」と回答している。また、「第一希望に近い」を含めると86.6%となった。
- 就職先を選択する場合に重視する項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」68.9%、「賃金・賞与」63.1%、「労働日数・時間」44.0%、「希望する勤務地であること」39.9%の順であった。
- 就職予定先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の93.3%であり非常に高い数値といえよう。「第1希望である」だけでもみると看護学科の78.6%が最も高く、次いで社会福祉学科60.6%となっている。
- 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している学生のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合は41.0%となっている。
- 卒業生に対し、母校から提供して欲しいサービスやサポートは、「求人情報等の提供」46.1%、「地元への転職等の相談への対応」24.9%、「キャリアセミナー等の開催」16.1%、「印刷物・メールマガジン等による大学の最新情報の提供」11.4%の順となっている。

- 大学の就職支援サービスについて、利用したことがある者の満足度である肯定的意見(「満足である」「どちらかといえば満足である」)は項目ごとに若干の差異があるが、約93%~98%の範囲で高い満足度と言えよう。

○大学への要望等

- 自由記述では教育内容や学生支援、施設・環境などに関する要望や在学中のサポートなどに関する謝辞等の記述があった。

以上

<本報告書に掲載している図表合計数値の留意点>

●掲載している図表内の数値は小数点第1位表示となっているため、図表内での合算がある場合、表示されている数値の合計と合算された数値が0.1異なる場合があることをご了承ください。

(例)

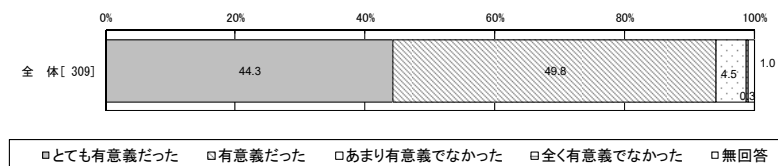
問14-(2)。(1)で「体験した」と回答した方]インターンシップは有意義でしたか

	とても有意義だった	有意義だった	あまり有意義でなかった	全く有意義でなかった	無回答	とても有意義であった +有意義であった
全体[309]	44.3	49.8	4.5	0.3	1.0	94.2

上記で表示されている数値では「とても有意義だった」44.3、「有意義だった」49.8で合計は94.1となるが、下数値のように小数点第2位を四捨五入して表示するため合計は94.2と表示されます。

全体[309]	44.34	49.84	4.53	0.32	0.97	94.17
---------	-------	-------	------	------	------	-------

問14-(2)。(1)で「体験した」と回答した方]インターンシップは有意義でしたか



【担当・問合せ先】

岩手県立大学事務局企画室 企画広報グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子152-52

TEL:019-694-2005 FAX:019-694-2001 E-MAIL:management@ml.iwate-pu.ac.jp